

PRESS RELEASE (2026/10/27)**九州大学・鵜木陽子特任助教が開発した特許技術を活用し、株式会社フィッシュパスが外来種ミズワタクチビルケイソウの環境 DNA 調査サービスを開始します**

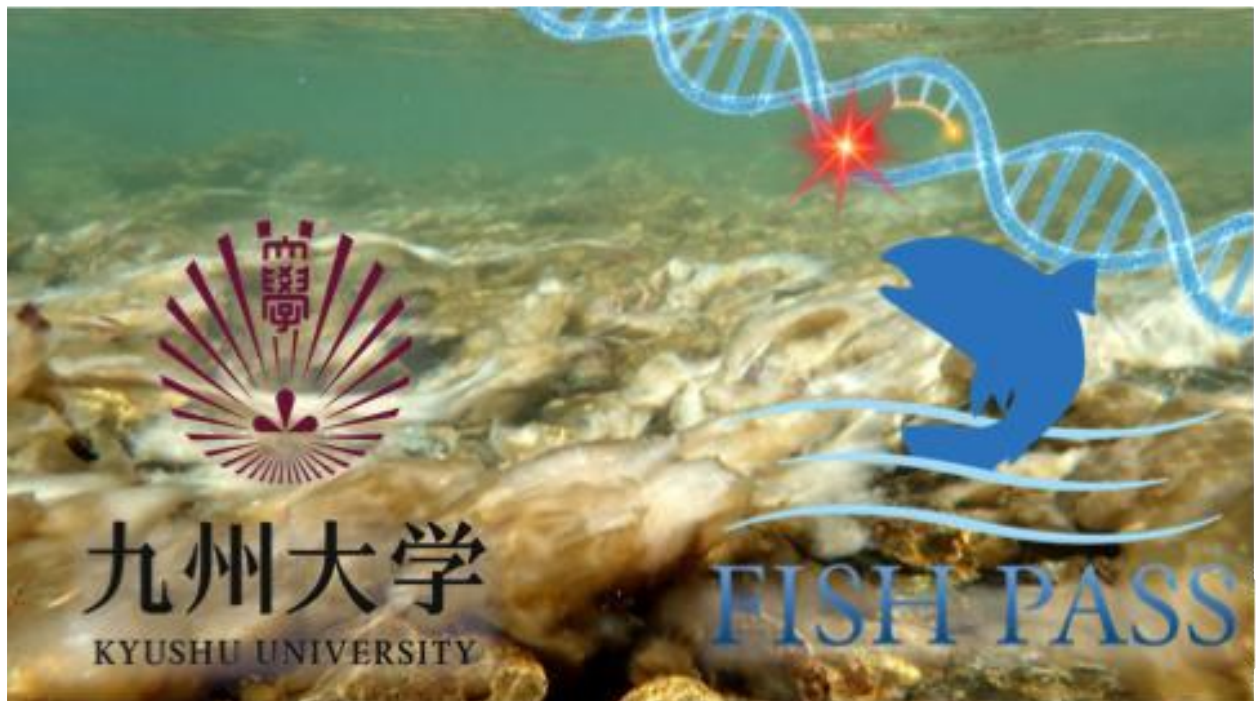
ミズワタクチビルケイソウ (*Cymbella janischii*) は近年日本に侵入した外来珪藻です。繁茂すると河川の景観を損なうだけでなく、アユや底生動物などの生物や取水施設にも影響を及ぼすことから、内水面の課題になっています。九州大学大学院工学研究院の鵜木陽子特任助教は、河川水に含まれる本種の環境 DNA を高感度かつ特異的に検出する手法を開発し (Kato-Unoki et al. 2024, 2026; 特願 2023-170652*)、このたび、[株式会社フィッシュパス](#) (以下、フィッシュパス) への実施許諾により、本技術を活用した環境 DNA 調査サービスの提供が可能となりました。

フィッシュパスは、釣りを支援するオンライン遊漁券アプリに加え、河川生態系の把握や資源管理に役立つ環境 DNA 分析事業を展開しています。本技術の社会実装により、身近な釣り場における本種の分布把握や継続的なモニタリングが進み、外来種対策を通じて、ネイチャーポジティブな河川環境の実現に貢献することが期待されます。

Kato-Unoki et al., Limnology 25:247–254 (2024). <https://doi.org/10.1007/s10201-024-00751-y>

Kato-Unoki et al., Water Biology and Security 5:100527 (2026). <https://doi.org/10.1016/j.watbs.2025.100527>

* 本技術は、JSPS 科研費 JP19K06187 および水産庁 R4、R5 年度の「効果的な外来魚等生息管理技術開発事業」により開発されました。



ミズワタクチビルケイソウが繁茂した河床の様子と環境 DNA 検出イメージ
(写真: フィッシングジャーナリスト佐藤成史、DNA 検出イメージ: 生成 AI 作成)

【お問い合わせ】

＜本技術・研究についての問い合わせ＞
九州大学大学院工学研究院
附属アジア防災研究センター
特任助教 鵜木(加藤)陽子(うのき ようこ)
Yoko Kato-Unoki
TEL:092-802-3397
Mail:unoki.yoko.659@m.kyushu-u.ac.jp

＜調査サービスについて＞
株式会社フィッシュパス 広報担当:上田
TEL:0776-67-7335
Mail:press@fishpass.co.jp

 **VISION 2030**
総合知で社会変革を牽引する大学へ